

仙建協と市民みんなの情報マガジン

フォーサイト

F O R E S I G H T

巻頭特集

移転開園60周年

進むハ木山動物公園の
リニューアル事業

〔企画特集〕

社の都のまちづくりに貢献われら“100年企業”

見たい知りたい！地元建設企業第4弾

在仙2大学が企業訪問ツアー

フォーサイトドットシー 眼底検査を受けましょう

〔座談会〕

仙台工業高校在校生＆卒業生

2025
No. 69

仙建協と市民みんなの情報マガジン フォーサイト F O R E S I G H T

CONTENTS

2025
No.69



フォーサイトって何？

仙台市の地域建設業者で組織する仙台建設業協会(仙建協)が発行する無料の地域情報マガジンです。本来の意味は「先見の明」で、「仙建協」との韻を踏んでおり、仙台の未来を見通す内容とする願いが込められています。

巻頭特集

3 移転開園60周年 進む八木山動物公園のリニューアル事業

企画特集

7 杜の都のまちづくりに貢献 われら“100年企業”

フォーサイト・ドクター

10 眼底検査を受けましょう

11 見たい知りたい！地元建設企業 第4弾 在仙2大学が企業訪問ツアー

第7回座談会

14 仙台工業高校在校生 & 卒業生

18 仙建協だより

(一社) 仙台建設業協会 会員会社

【青葉区】

熱海建設(株)
(株)熱海店
(株)阿部和工務店
阿部建設(株)
(株)石井組
遠藤建業(株)
奥田建設(株)
金福建設(株)
(株)小松建設
庄子建業(株)
仙建工業(株)
千田建設(株)
東北共栄建設(株)
(株)東北ロントック
銅谷建設(株)
日建工業(株)

【青葉区】

(株)橋本店
東日本コンクリート(株)
(株)広瀬組
(株)深松組
宮環建設(株)
ワーカー工業(株)

【泉区】

赤坂建設(株)
(株)泉工務店
海道建設(株)
(株)さとう総業
東北グレーダー(株)
中田建設工業(株)
(株)榊田組
丸武建設(株)
(株)三浦組

【宮城野区】

栄喜工業(株)
奥山工業(株)
(株)鎌田建設
後藤工業(株)
仙台アスコン(株)
(株)仙台土建
(株)高工
鷹鷲建設(株)
(株)丹勝
中城建設(株)
長谷川建設(株)
(株)丸鹿
(株)湯目建設
(株)渡邊舗装工業

【若林区】

遠藤工業(株)
遠藤吉照土建(株)
皆成建設(株)
(株)加賀
木血建設(株)
栗村建設興業(株)
サイト工業(株)
(株)佐元工務店
仙舗建設(株)
(株)丹秀工務店
(株)千葉建設
東北ニチレキ工事(株)
日道建設(株)
ヤマトワーク(有)
若葉建設(株)

【太白区】

(株)阿部砂利建設
河北建設(株)
(株)柴田建設工業
(株)ショウエー
伸和興業(株)
通信道路(株)
同事建設(株)
(株)東北リアライズ
(株)永岡
(株)日啓工業
(株)ビルド
北都ハウス工業(株)
(株)丸三建設興業
山辰建設(株)
陽光建設(株)

【富谷市】

大川工業(株)

【黒川郡大和町】

大和建設(株)
八嶋建設(株)
(株)吉田工務店

【黒川郡大衡村】

(株)松川土木

移転開園60周年

進む八木山動物公園の リニューアル事業

青葉区荒巻三居沢から1965年に移転し、太白区八木山に開園した八木山動物公園は、今年で移転開園60周年を迎えました。節目を祝うイベントや企画展が数多く開かれています。長年、動物の魅力を発信してきた同園では現在、老朽化対策と展示方法の見直しに向けて、再整備事業が行われています。長期間にわたる再整備事業は3期に分けて行われており、1期目の事業では、同園の西側に当たる「エリアI」を中心にリニューアルを図ります。アフリカ園を改修し、新たに総合獣舎やライオン舎を建設します。



エリアIのイメージ図

三居沢から八木山へ 動物との親しみを提供

仙台市の動物園は、今から89年前の1936年に青葉区花壇の広瀬川河畔に「仙台市動物園」として誕生しました。第二次世界大戦のさなかに閉鎖されましたが、その後、1957年に場所を青葉区荒巻三居沢に移して「子供動物園」として復活しました。当初は小動物の展示が中心で、クマやゾウなどの大型動物の展示が増えるにつれて、園内が手狭になってきました。

そこで、大型動物の展示にも対応できるよう、広い敷地が確保できる八木山の地に移転が計画されたのです。60年前の1965年に「仙台市八木山動物公園」として開園しました。最初はアムールトラの赤ちゃんやアメリカバイソン、インドゾウなど100種360個体の動物たちを展示していました。

長年、市民に愛され続けている同園ですが、施設の老朽化が進むとともに、休憩や飲食を提供するサービス施設の少なさなど、課題が増えてきました。また、屋外での展示が多いため、雨の日や真夏、真冬に快適に見学できないという課題もクリアする必要があったのです。

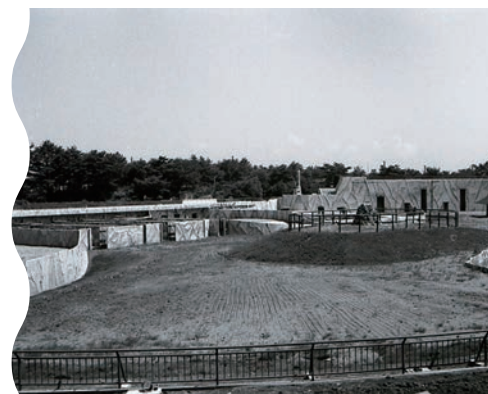
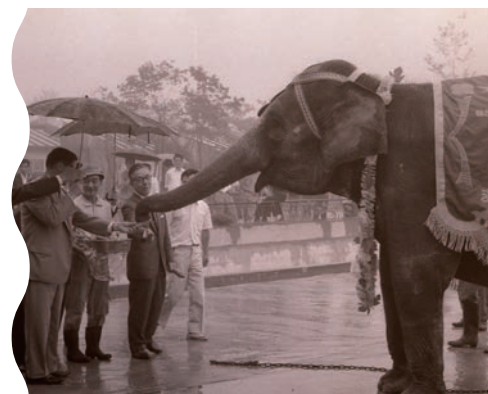
そのため、仙台市は同園の長寿命化再整備計画を立てて、2037年度まで長期間にわたって整備することにしました。事業は第1期(2021～2028年度)、第2期(2029年度～2034年度途中)、第3期(2034年度途中～2037年度)の計3期に分けて行い、最初に「エリアI」を中心にリニューアルします。



60周年看板



写真提供：仙台市



エリアIの見どころ



開園60周年を迎えた八木山動物公園の東門



1965年 開園当初

すでに2021年度から行われている第1期事業では、エリアIをどのようにリニューアルするのでしょうか。八木山動物公園の管理課・本間輝清さんに教えてもらいました。

見どころ1

動物のありのままの姿を観察

八木山動物公園のリニューアルでは、動物たちを本来の自然に近い環境で見られる「環境生態展示」や、動物の能力や行動を引き出す「行動展示」によって、ありのままの姿を観察できるように工夫します。また、エリアII、エリアIIIでは、動物と同じ空間に来園者が入っていくことにより、動物を間近で見られるような「ウォークスルー型展示」も充実させていきます。



案内図



シマウマやゾウなどが飼育されている今のアフリカ園

見どころ2

アフリカ園を改修

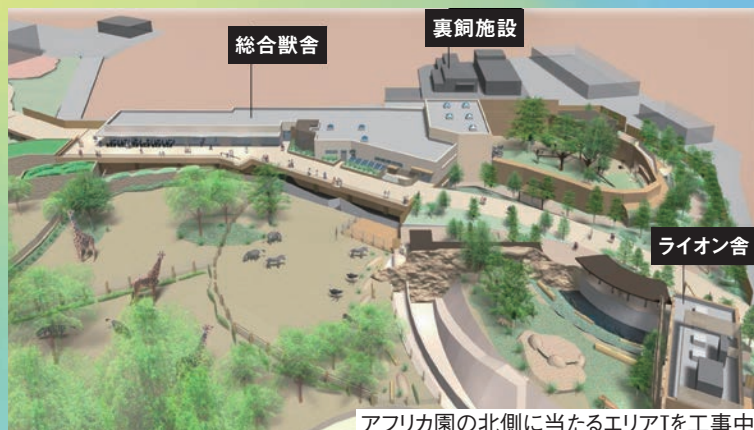
動物公園の西側に位置するエリアIの区域は、既存のアフリカ園を含む部分です。近くにはビジターセンターがあります。

今はアフリカの生き物を分散して展示していますが、エリアIでは既存のアフリカ園を、ライオンを加えた新アフリカ園とするなどして、アフリカの生き物を集約して展示します。

今あるゴリラ舎や爬虫類館などを解体し、代わりに総合獣舎とライオン舎を新しく建てる。ライオンは今、別の場所に展示していますが、移転後は樹木や堀で仕切られた放飼場で、肉食のライオンと草食のゾウやキリン、シマウマ、ダチョウがサバンナの中に一体的に見えるように見せ方を工夫します。



エリア1の位置図



見どころ3

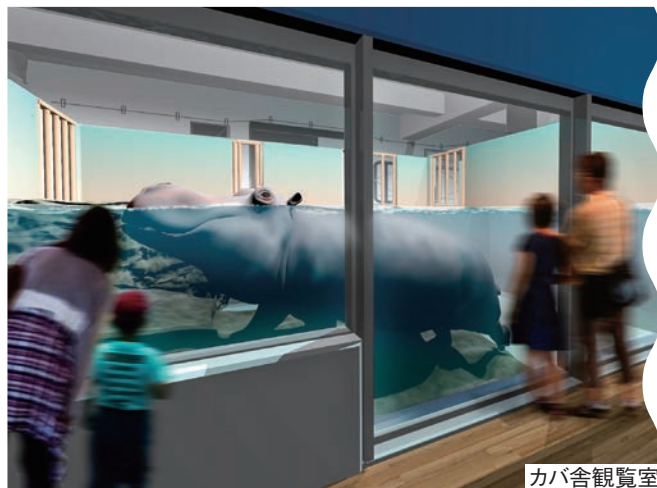
屋内観覧可能な综合兽舎

新設する综合兽舎は2階建てで、雨の日でも屋内から動物を観覧できます。1階では絶滅危惧種の大型草食動物サイ、カバの迫力ある動きや生態がガラス越しに見られます。

2階では、マダガスカルに生息しているワオキツネザルやマダガスカルホシガメ、クロシロエリマキキツネザルなど、現地の固有種を展示します。2階の外側に設ける観覧デッキからは、サバンナを一望できます。综合兽舎の中には休憩スペースや飲食コーナーも設けます。



マダガスカル観覧室



カバ舎観覧室

見どころ4

チンパンジーの集団生活に注目

综合兽舎の一部は、1、2階を吹き抜けにしてチンパンジーを展示します。チンパンジーの展示場は「アフリカの森」を再現しており、樹木に覆われた展示場で、チンパンジーたちがどんな集団生活をしているのかをお楽しみ下さい。チンパンジーは屋内から見られるだけでなく、屋外展示場の周りにトンネル状の通路を設けるので、天候を気にすることなく動物たちを見られます。



チンパンジー屋内観覧室

トピックス

動物園にベーブ・ルース?!



今のアフリカ園の南側に「ベーブ・ルースの銅像」が建っているのを知っていますか?

ベーブ・ルースといえば、メジャーリーガー大谷翔平選手の活躍でもたびたび名前が上がる元祖二刀流の“野球の神様”です。

実は動物公園ができる前、ここには八木山球場があり、1934年には全米大リーグ選抜チームと全日本チームが親善試合を行ったのです。その時、ベーブ・ルースはここで来日初ホームランを放ちました。野球場の跡地に造ったのが今のアフリカ園なのです。

ベーブ・ルースの銅像は2002年に建てられ、2022年には野球伝来150年を記念して「日本野球の聖地・名所150選」の一つに認定されています。



チンパンジー観覧洞窟

エリア I の総合獣舎建設

阿部和工務店・橋本店・中城建設JV

八木山動物公園のリニューアル事業で、エリア I の主要工事となっているのが総合獣舎の建設です。鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）の2階建ての建物を、仙台建設業協会会員企業の阿部和工務店・橋本店・中城建設の共同企業体が施工しています。動物たちの間近で工事するための気配りや難しさを、共同企業体を代表して阿部和工務店の樋口友和所長に聞きました。



既存施設の解体後、これから総合獣舎の建設が本格化します



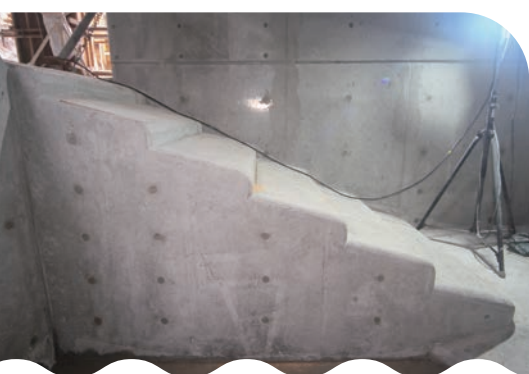
工事に励む作業員

3社が共同で施工しているのは、仙台市都市整備局が発注した「仙台市八木山動物公園エリア I 施設（総合獣舎）新築等工事」。もともとあったゴリラ舎や爬虫類館を解体し、その跡地に新しい建物を建設します。建物の工事だけではなく、動物が展示される放飼場、動物たちが通る通路なども建設します。

エリア I のリニューアル事業は2021年から始まり、最初に爬虫類を移転させるために「裏飼施設」を建設しました。施工したのは

仙台建設業協会会員企業の仙台土建です。そのあと、2025年1月からは、アフリカ園の北側にあったガン生態園を解体して更地にしました。今後は跡地に別の工事でライオン舎を建てます。

2026年の冬ごろは既存施設の解体工事が盛んに行われ、解体が終わる2026年春ごろからは、総合獣舎を建てる前に建設場所の地盤改良工事を行います。それを経て、2027年ごろから総合獣舎の建設が本格化する予定です。完成は2028年度中を見込んでいます。



トピックス

カバ用階段は斜め?!

カバの飼育施設の改修では、水槽に上り下りするための階段を新しく作りました。横からよく見ると、階段の幅が広く、斜めに下がっているのが分かりますか？ これは、カバが階段を上り下りする際、重心を体の後ろにかけるからなんだとか。人間が上り下りするとかなり違和感があります。樋口所長は「人生で初めてカバの階段を作った」と笑っていました。

樋口所長が語る

動物を怖がらせない気配り 飼育員と気持ちを共有

阿部和工務店の樋口所長に話を聞くと、最初は動物園の工事ということでワクワク感があったそうです。しかし、動物園のスタッフや飼育員と話し合いを行うたびに、ワクワク感が消えて緊張感が増えてきたそうです。飼育員から一番お願いされたのは、「動物たちを怖がらせない」こと。それを要望されて、動物たちのすぐ側で工事することの難しさを悟ったそうです。

解体工事では屋根や壁を大型重機で壊すため、どうしても大きな音が回りに響きます。その音に、動物たちは敏感に反応してしまいます。そこで、動物たちが音に慣れるまでは、少しずつ解体工事を行って、なるべく大きな音が出ないように気を配ったそうです。

また、バックホウやクレーンなど高さがある重機がひょっこりと茂みの中から現れ

ると、動物たちは外敵が来たかと勘違いして怯えてしまいます。動物たちが慣れるまでは、大型重機を近くに置いて慣れるのを待ったそうです。作業員たちが大きなはしごを持ち運びする時も、はしごを立てて持つと動物たちを刺激してしまうため、目立たないように横に寝かせて持ち運んでいます。

そのように気を配りながら工事を続けているうちに、樋口所長も飼育員と同じような目線で工事に当たるようになってきました。「飼育員の方々は、健康な状態の動物たちを来園者に見てもらえるように、常に気を配っています。工事関係者も、そんな飼育員の方々の気持ちに応えられるようにがんばっています」と樋口所長は気配りを続けています。



樋口所長



(株)仙台土建
佐藤 守彦 代表取締役社長



鷹觜建設(株)
高橋 英文 代表取締役社長



杜の都のまちづくりに貢献 われら“100年企業”

2025年は「昭和」に置き換えるとちょうど100年。戦争や苦難の時代を経験し、高度経済成長期に栄え、バブル経済の終焉を経験。そして、21世紀を迎えた歴史ある企業が仙台の建設業界にもあります。杜の都のまちづくりを支え続けている仙台建設業協会の100年企業4社に、創業からこれまでの歩みを振り返ってもらいました。



(株)橋本店
武田 文孝 代表取締役社長



(株)深松組
深松 努 代表取締役社長





最新の免震工法を採用した仙台市急患センター

**1925年に仙台土木建築工業として創業。
ことしで100年。**

会社が末永く続いていることへの思いは？

私で三代目となるが、50年にわたり数々の苦難を乗り越え現在の会社の基盤を作った二代目に当たる現会長と、これまで携わってきた社員や取引先、歴史を継承してきた人々のおかげだと思っている。100年をしっかりと継承し、また新たな未来に向かって一歩ずつ進んでいきたい。

長く経営を続けてこられた秘訣は？

私は社長になってわずか10年だが、半世紀にわたり経営を担ってきた会長の行動や言動から、『正しさを貫く』というところが徹底されていると感じる。目先の損得などで判断するの

(株) 仙台土建

佐藤 守彦 代表取締役社長

[宮城野区小田原]



代々受け継ぐ“正しさを貫く”姿勢

ではなく、客観的にそれが正しいのかを念頭に置いて行動している。どんな場面や誰が相手であろうとも信念を貫き妥協を許さなかったし、経営的な部分においてもそういうところが根っこにあって、会長の姿勢が社員全体にも伝わってきた結果がこれまでの経営につながったのだと思う。

会社を代表する事業は？

仙台市の公共施設では初めて免震工法で建設した急患センターの新築工事は思い出が深い。注目度も高く、当時の市長も視察に来ていたのを覚えている。最新技術の免震工法を、大手とJVを組み一体となって施工に取り組んだ記憶が残っている。現在も仙台市の建築工事が大きな柱となっており、これからも全ての工事が表彰されるように常に高い意識を持って取り組んでいきたい。

未来に向けてのメッセージは？

どの産業、どの会社も人が足りない状況が

続き、今後もっと深刻となると人手不足による廃業や倒産が激増してくると思っている。建設業はなくてはならない産業のひとつだと思うので、会社を残すためにも若手の人材確保・育成には力点を置いていきたい。同時にデジタル化による省力化も推進し、これまでより少人数で効率よく仕事が出来るよう改善を試み労働時間の短縮も達成していく。さらに、今後、中小企業も合併やM&Aなど経営統合の動きが活発になってくる可能性があるの、主体的に動けるようにしていきたい。



長年の建築技術を注いだ
仙台市立大和小学校の校舎



鷹觜建設(株)

高橋 英文 代表取締役社長

[宮城野区原町]

身の丈に合う経営を貫徹

1846年に高橋組として創業。

ことしで179年。

会社が末永く続いていることへの思いは？

私が今あるのは先祖のおかげ。特に、会長を務めていた父の影響を受け、教えを守ってきた。従業員についても、少人数ながら一



水力発電100周年を記念して建てられた
三居沢電気百年館

生懸命がんばってくれている。2年に1度は仙台市の優良工事表彰を受賞できるほど、技術者たちは努力してくれている。

長く経営を続けてこられた秘訣は？

身の丈にあった経営に徹してきたこと。無理して受注したり、借金をして経営しないという方針を、歴代社長が継承してきたことが良かった。当社の社是は「誠意・信頼・感謝」。これを自分自身にも言い聞かせている。

そして、常に地域に貢献していく精神を忘れないこと。土木や建築の仕事は地域を良くするための仕事であり、地域の方々が便利になることを思いながら良い物を作ってきた。

会社を代表する事業は？

青葉区内にある東北電力の三居沢発電所に、1988年に三居沢電気百年館を建設した。1888年に水力によって東北で

初めて電気を起こした場所。当社の会長が東北電力の出身だったので、メモリアル施設を建設したことにとっても思い入れがある。

私が入社して間もない頃に関わった荒浜小学校の校舎建設も、さまざまな思いがある。立派に完成した校舎と体育館は、のちの東日本大震災で津波の被害を受けた。体育館は解体されて複雑な思いはあるものの、校舎は震災遺構として残り、防災教育に役立っている。

未来に向けてのメッセージは？

土木や建築は未来もなくなる工事。それを続けていくためには、将来にわたって誠実に、真面目に、コツコツと仕事をするのが大事。歴代社長に言われてきたことを、次の世代にも引き継いでいく。



津波で被災後に震災遺構として残った
旧荒浜小学校の校舎



震災復興を代表する
気仙沼大島大橋の架設にJV企業として参画

1878年に橋本組として創業。

ことしで147年。

会社が末永く続いていることへの思いは？

100年以上もの間、地域のお客さまや協力会社の皆さまに支えられ、歩んでこられたことに深く感謝している。147年という年月を企業が歩み続けられたことは、光栄であると同時に、非常に重い責任を感じる。

建設業界を取り巻く環境は、人口減少、働き方改革、脱炭素やデジタル化と大きく変化している。過去の歴史に安住するのではなく、新しい技術や価値観を柔軟に取り入れ、未来を見据えた経営を進めていくことが使命だ。

長く経営を続けてこられた秘訣は？

長く経営を続けられた秘訣は3つある。1つ目は、どんな工事にも誠実に向き合い、信頼を積み重ねてきたこと。経営理念の最重要項

(株) 橋本店

武田 文孝 代表取締役社長

[青葉区立町]



変化を恐れず未来へ

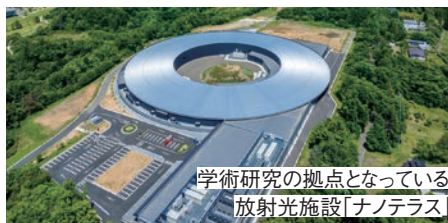
目にも「人づくり」を掲げ、堅実にものをつくることを大切にしてきた。

2つ目は、先代社長が始めた月1回の全社員勉強会を継続し、安全や技術について一緒に学ぶ機会を設けていること。1つのことをみんなで考える場合は、組織の一体感を生み出す上で非常に大切な。

3つ目は、時代の変化を受け入れ、新しい技術や仕組みに挑戦し続けてきたこと。会社の基本方針として「常に変化していこう」という姿勢を受け継いできた。

会社を代表する事業は？

特徴は「地域に根ざした幅広い事業」で、宮城県庁行政庁舎、美術館、メディアテークなどの公共工事から、最近では放射光施設や



学術研究の拠点となっている
放射光施設「ナノテラス」

官民連携事業にも取り組んでいる。定禅寺通の協議会などまちづくりにも積極的に参加している。

当社には2つの核となる強みがある。1つは、情報を先回りして掴む営業力。もう1つは、優良工事として評価される技術力だ。受注した案件を確実に完成に導くこの「社員」たちの存在が、当社にとってかけがえのない財産となっている。

未来に向けてのメッセージは？

建設業の魅力は自分の住んでいる街をつくり、関わったものが地域の風景として何十年も残り、人々の生活を支え続けることだ。147年続いてきた会社だが、未来をつくるのは若い世代。今いる社員と若い人たちが次の150年、200年までの土台をつくるのが大事だ。

地域からの信頼があったからこそこの147年。新しい技術を学びながら、自分の力を地域に生かしたいと考える若い人たちと、200社を超える協力会社の皆さまとこれからの100年を築いていきたい。



(株) 深松組

深松 努 代表取締役社長

[青葉区荒巻本沢]

地域社会の繁栄に奉仕

1925年に深松組として創業。

ことしで100年。

会社が末永く続いていることへの思いは？

創業者の祖父や先代の父を含めて実直さを受け継ぎ、周囲からの信頼を築き上げてきたおかげで今年100周年の節目を迎えた。100年の歴史の中で高度成長期から、バブル崩壊、ゼネコン汚職など、さまざまな時代があった。特に2008年のリーマン・ショックの時は、建設企業も何十人単位でリストラに追い込まれていたが、私たちは不動産賃貸の柱もあったおかげで、社員を1人もリストラすることなく存

震災復興を象徴する複合施設
「アクアイグニス仙台」



続することができた。残ってくれた社員が東日本大震災の復興事業で大車輪の活躍してくれたことは、とても嬉しいことだった。

長く経営を続けてこられた秘訣は？

これまで社会で困っていることを解決するお手伝いをいろいろやってきた。今年7月にオープンしたALS患者専門のナーシングホームもそのひとつで、年内には満床となる予定だ。障がい者施設は全国的にもまだまだ普及に至っていない。そのような未開拓市場であるブルー・オーシャンを切り開くことが、今後の経営にも絶対に役に立つと思う。不動産賃貸の家賃でリーマン・ショックを切り抜けられたように、今後起こりうるさまざまな事態を想定し、社会問題を解決し人に喜ばれる事業を継続的に展開していきたい。

会社を代表する事業は？

沖縄の発展を支えるため、地域特性を活かした沖縄開発事業は印象深い。宮古島でリゾートホテル事業を展開するとともに、全6棟



沖縄で運営する
ヴィラブリゾート

の戸建て宿泊施設と宿泊者専用のプライベートビーチを備えたヴィラブリゾートを運営している。私自身、沖縄が大好きで、仕事で堂々と行けたらこんないいことないと思っていた。仙台の旅行会社からの情報で、素晴らしいロケーションの宮古島のホテルが売りに出ているとのことで、一目惚れして購入に至った。現地の方々と交流が増えて、事業を応援してくれる仕事も手伝ってもらった。

未来に向けてのメッセージは？

建設産業全体が今まで以上に良くならないと深松組が発展することはない。そのためには仙台のまちを今より『いい仙台』として残していくことが大切となる。祖父が作った社是の一つに「信用を重んじ建設事業を通じ地域社会の繁栄に奉仕する」と掲げている。地域社会の繁栄に奉仕するということは、困っている人々を助けることが繁栄につながる事となる。その気持ちと技術を次世代に受け継ぎ、150年、200年築いていける会社にしていきたい。

眼底検査を受けましょう

80%以上は眼底の病気

眼底検査とは？

みなさんは、眼底検査を受けたことがありますか？

眼底検査とは、眼球内部にある網膜、視神経、血管などを観察する検査のことで、眼科の検査の中でも特に重要な検査です。

視覚障害の原因の80%以上が眼底の病気と言われており、眼底検査をすることで早期発見することができます（グラフ参照）。

初期の段階では自覚症状が出にくい病気もありますので、自覚症状がないから病気がないとは言い切れません。定期健康診断で視力が良い結果だったとしても、眼の病気が隠れていることがありますので、視力検査だけでは不十分です。治療が遅れると機能を回復できない場合もありますので、眼底検査で早期発見して早期治療することがとても大切です。



高野 章子

(たかの しょうこ)

とみざわみなみ眼科クリニック 院長

■経歴

1992年3月 東北大学医学部医学科卒業
1992年4月 東北大学医学部眼科学教室
1993年4月 仙台赤十字病院眼科
1994年4月 東北大学医学部大学院医学研究科外科学系専攻入学
1998年3月 東北大学医学部大学院医学研究科外科学系専攻卒業
1998年4月 山形市立病院済生館眼科
1999年6月 太田西ノ内病院眼科
2004年6月 仙台赤十字病院眼科
2007年4月 とみざわみなみ眼科クリニック院長

■役職

仙台市医師会理事
仙台市眼科医会副会長
宮城県眼科医会副会長

■資格

日本眼科学会専門医

どんな病気が分かるの？

● 緑内障

日本人の失明原因の第1位。徐々に視野が狭くなって、放っておくと失明してしまいます。そのような病気にも関わらず、初期、場合によっては中期でも自覚症状がありません。40歳以上では20人に1人、70歳以上では10人に1人いると言われています。一度欠けた視野は、今の医学では治すことができません。早期に発見して、適切な治療を続けていけば、進行を抑えることができます。

● 糖尿病網膜症

自覚症状がないまま進行するため、見えづらいと感じるころにはかなり悪化しており、視力の回復が難しくなります。糖尿病の方は、症状がなくても必ず定期的に眼底検査を受けましょう。

● 黄斑変性・黄斑前膜

比較的自覚症状が出やすい疾患です。ゆがみが出たり、見ようとするところが見えづらいなどの症状が出ますが、両眼で見ていると気づきにくいので、たまに片目だけで真っ直ぐな線を見て、波打ったり途切れたりしていないか確かめましょう。

● 網膜血管の動脈硬化・閉塞

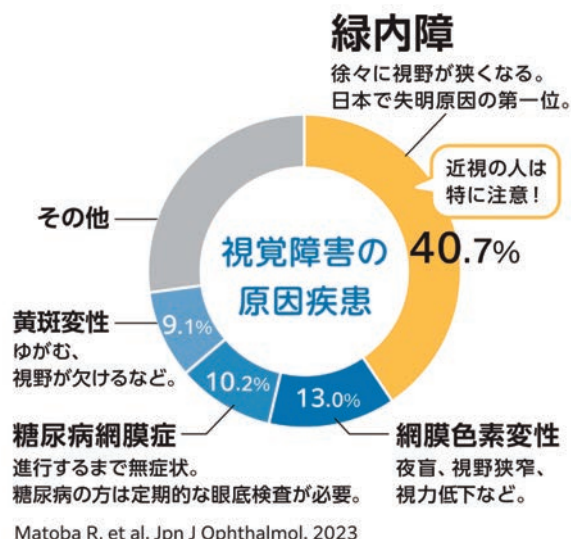
眼底は、体の中で血管を直接見ることができる唯一の場所です。高血圧、糖尿病、高脂血症などの全身疾患からくる動脈硬化の状態を予測することができます。

視力が良くても眼底検査は必要

眼底検査では、これらの病気以外にも分かることがたくさんあります。眼科に行ったことのない方、視力が良くても何も困っていない方、定期健康診断や運転免許更新の視力検査で異常を指摘されなかった方も、ぜひ眼底検査を受けましょう。

また、メガネを替えたくなった時や目が赤くなったり目やにが出るなどの症状がある時は、メガネ屋さんやドラッグストアで済ませるのではなく、少し面倒でも眼科を受診して「私の眼底は大丈夫ですか？」と聞いてみて下さい。

一生大切なものを見続けるために、定期的な眼底検査を受けましょう。



見たい知りたい! 地元建設企業

第4弾

在仙2大学が企業訪問ツアー



東北学院大学



宮城学院女子大学 <初>

仙建協と地元大学の合同主催による企業見学会が2025年9月16日に行われました。4回目となる今回は、東北学院大学環境建設工学科1年生7人のほか、初めて宮城学院女子大学から生活文化デザイン学科の1～4年生8人が参加。各社の特長や会社の雰囲気などを体感してもらいました。

企業見学会 参加者の声

皆さん、
ありがとうございました。/

見学会申し込みの動機は?

- ▶ 建設会社を実際に見てみたかった
- ▶ 建築業に興味があるから
- ▶ 面白そうだと興味を持った
- ▶ 建設業界の企業を全く知らないから

見学会前、建設会社(建設業)のどのようなことを知っていたか?

- ▶ 自分のやりたいような仕事はあるのか、どんなことをしている会社なのか
- ▶ 業務内容や給与、社内の雰囲気

見学会後、建設会社(建設業)のどのようなことを、知ることができたか?

- ▶ さまざまな部門における詳しい業務内容や会社の雰囲気、実際に働いている方々のリアルなタイムスケジュールなど
- ▶ 各会社の個性、また、その会社が建てた建造物の説明をいただいた時、建設業というものを身近に感じたこと
- ▶ 女性の働き方、業務内容、会社の特色

見学会前の建設会社(建設業)にどのような印象を持っていたか?

- ▶ 圧倒的に男性社会なイメージを持っていた。また3Kということもよく聞くので、大変な業界なのだと思っていた
- ▶ どのような仕事をしているのかあまり分からないという印象
- ▶ 地域に寄り添っている

見学会後の建設会社(建設業)の印象はどう変わりましたか?

- ▶ 男性が多いが、女性も多く、働きやすい環境であり良い印象が変わった
- ▶ 幅広い範囲に携わっている
- ▶ 思っていたよりも福利厚生がしっかりしているという印象が残った。また、女性社員の方も活躍していることを知ることができ、これからもっと女性が働きやすい環境ができていくのかもしれないと思った

見学した会社でも、もっと説明してほしいかった、または見学させてほしいかったことは?

- ▶ 施工現場を実際に見てみたかった
- ▶ 給料に關することや福利厚生等についてのプリントなど、手元に残るものがほしいと思った
- ▶ どんな仕事をする人を募集しているのか説明がほしいかった

(株)阿部和工務店・銅谷建設(株)

青葉区上杉

資格取得へ支援体制も充実



阿部和工務店・船山社長



銅谷建設・佐藤社長

阿部和工務店と銅谷建設は合同で開催しました。1カ所目ということもあり緊張した面持ちの学生たちを前に、阿部和工務店の船山克也社長は「これからの時代を担う皆さんが大きく成長し、できればこの業界で活躍されることを期待しています」と激励。また、銅谷建設の佐藤勝利社長は「建設業は地域、日本の基幹産業で、皆さんのOB、OGも数多く活躍している。就職先として選んでいただければ幸いです」と期待しました。

この後、それぞれの担当者が企業概要や事業内容、就職後の資格取得に向けた手厚い支援体制などを説明したほか、東北学院大学OBで阿部和工務店に入社6年目となる沼倉巧大工事部主任が担当業務や具体的な仕事の流れなどを紹介。これまでの経験を通して「施工管理として幅広い知識を持つこと、職人の皆さんとのコミュニケーション力を養うことを心がけています」と話しました。



自身の経験を話す
阿部和工務店の沼倉主任

(株)三浦組

泉区七北田

土木・水道事業や送電事業などを手掛ける三浦組。特に電力供給会社の発電所から生活の場である「街」へ電力を供給する送電線等の電力施設建設を行う送電事業について三浦修社長は「わが社の主力事業の中で最も歴史と実績のある部門であり、技術の基礎になっている事業です」とPRしました。また、送電線建設・土木工事・電気工事で培ってきた高い技術力をフルに活用し、携帯電話（スマートフォン）の「無線基地局」の建設や増強工事にも注力。「通信可能エリアの拡大や人が多く集まるイベントなどでも安心して使えるなど、大手通信会社のパートナー企業として安定かつ快適な移動通信インフラ整備にも貢献しています」と強調しました。

この後、土木部土木・舗装グループの引地竜也主任と



自社の特長をPRする三浦社長

遠藤拓哉さんが1日のスケジュールなどを紹介しながら「私たちの仕事は高い技術力と信頼が求められる仕事であり、皆さんに安心を届ける『なくてはならない大事な仕事』です」とアピールしました。

主力は送電事業、豊富な実績を誇ります



事務所内の見学も行われた



引地主任(右)と遠藤さん

中城建設(株)

宮城野区幸町

まちをワクワクさせる建設会社

総務部の菊地怜奈さんがナビゲートし、創業から約80年となる自社の沿革を紹介しながら、現在を「未来先取り 転換期」と表現。「長く建設業で培ってきたノウハウやアイデアを融合させた事業に力を入れています。建築物を通して地域の方々の『あったらいいな』という思いを実現する『まちをワクワクさせる建設会社』でありたいと考えています」とビジョンをアピールしました。

また、建築事業に加えて企業主導型保育園として2021年3月にオープンした「のいえ保育園」(青葉区宮町)や応援型ファンド「まちワク。ファンド」、農業と福祉を連携し新たな地域資産を作り出す農福連携事業「まちワクプロジェクト」など具体事例を示しながら、地域課題を新たな地域資産に変える事業を幅広く積極展開していることをPRしました。

座学に続いて一行は、数年前にリニューアルした社屋内を見学。「フリーアドレスの採用など社員の声を随所に取り入れています」との説明を受けました。



社員の声を盛り込んだ事務所内を見学



ナビゲートする菊地さん

(株)橋本店テクノロジーマネジメントセンター

宮城野区福室

常に新しいことにチャレンジしています

学生たちを前に、建築部業務効率推進課の佐々木課長は「創業以来147年間、進化を続けてきた会社です」とアピール。トレードマークである『くじら』にも「常に新しいことにチャレンジするという思いを込めています」と強調しました。また、近年は「働き方改革に最も力を入れています」と話し、具体的には業務効率化を進めるICTやBIM/CIM、柔軟な働き方を推進するフレックス制度や朝方勤務などの取り組みを紹介しました。

また、東北学院大学OGでもある藤本向日葵さんは、産休・育休で11カ月ほど仕事から離れて6月に復帰したばかりですが、「フレックス制度や仲間の温かいバックアップもあり、心に余裕を持って働くことができています」と笑顔で話しました。

この後、同社が施工した国道4号箱根交差点下部工工事をモデルにVR体験。最先端の技術に学生たちは感心しきりでした。



佐々木課長



藤本さん



迫力の現場をバーチャル体験



皆成建設(株)

若林区六丁の目

敷地内に保育園がある会社です

会社の敷地内に保育園を有する皆成建設。一行を出迎えた南達哉社長は「お子さんがいても安心して長く働ける会社です」とアピールしました。

同社では2018年に0～2歳児までの受

け入れが可能な企業主導型保育園「みんなのひよこ園」を整備。以来、女性社員はもとより男性社員も子どもを預けており、南社長は「送迎の負担がなく、何かあればすぐに駆けつけることができるので安心して働くことができます」と話し、最後に「残る大学生活を有意義に過ごしていただき、地域、さらには日本を背負う人材になってください」とエールを送りました。

また、管理部の菊地祐樹さんが会社概要や事業分野、多職種を体験できる教育制度「ジョブローテーション」などを説明したほか、企業選択のポイントとして「これだけは絶対に譲れない条件を絞り込むこと」とアドバイス。さらに、工事着手から完成までの流れを料理の過程に例えたゲーム（工程表作成）も行われました。



あいさつする南社長



みんなのひよこ園を見学



管理部の菊地さん

おしえて先輩 もっと知りたい! 建設業の仕事

仙台市立
仙台工業高校

在校生&卒業生

第7回座談会

フォーサイトでは今回も、仙台市立仙台工業高等学校土木科・建築科の生徒と仙台建設業協会会員企業で活躍する同校卒業生の座談会を企画しまし

た。地元建設業の発展を担う多くの人材を輩出している仙台工業高校は、社会の即戦力となるスペシャリストの育成に力を入れています。座談会では、

地元建設会社の若手社員でOBの2人が、建設業の仕事や将来の進路選択に関する質問に答えました。



前列:左から佐藤ひなたさん、佐藤聖我さん、本郷由帆さん、安達綾祐さん 後列:左から横田雄大さん、浦山菜緒さん

まずはOBのお二人に、自己紹介を兼ねてお話しいただきます。

横田 深松組建築部の横田雄大です。仙台工業高校建築科の卒業生で、高卒で深松組に入社し、9年目になります。現在は仙台市発注の高砂市民センターの大規模改修工事で施工管理を担当しています。父が同じく仙台工業のOBで、個人経営で建設業を営んでいるため、小さいころから自然と建設の仕事に身近に感じていました。

浦山 日建工業の浦山菜緒です。高卒で入社し、ことしで6年目になります。現在は積算業務を担当しています。道路などの工事、どのくらい費用が掛かるのかを計算し、金額を算出する仕事です。建設業を志したのは、社会にとって必要不可欠な仕事だと感じたからです。

続いて生徒の皆さんから、仙台工業高校に入学した理由や将来の進路などをお聞かせください。

佐藤聖我 (建築科) 小さいころからものづくりが好きで、その力を社会に生かしたいと思い、この学校を選びました。部活動はバレーボール部で副部長をしています。進路はまだ決まっていませんが、施工管理の仕事に興味があります。

佐藤ひなた (建築科) 父が建築関係の仕事をしており、中学の時に父の職場で体験したことがきっかけでこの道を志しました。部活動はバレーボール部のマネージャーをしています。卒業後は就職を考えており、授業で設計や製図が好きになったので、その方面に進みたいと考えています。

安達綾祐 (土木科) 祖父が鉄道関係の土木の仕事をしており、父からその話を聞いて



て興味を持ちました。小さいころからトミカやプラレールで遊ぶことが好きで、オーブンキャンパスで「面白そうだ」と感じ、入学を決めました。部活動はプラスバンド部で金管楽器のパートリーダーをしています。

本郷由帆（土木科） 高校卒業後に就職したいと思い、高校を探していたところ、オーブンキャンパスで仙台工業を知り、就職率が高く土木科があることから進学を決めました。部活動は美術部です。進路は就職希望で、土木で学んだことを生かせる仕事に就きたいと思っています。

生徒の皆さんから事前に寄せられた質問の中から、まずは会社を選んだ理由を教えてください。

横田 進路担当の先生から職場見学を勧められたことがきっかけです。実際に事務所と現場を見学して、そこで働く方々が温か

く、深松組の雰囲気になれて「ここで働きたい」と思ったことが決め手となりました。

浦山 家を出て一人暮らしをする自信がなく、家族や地元の友達がいる環境で働きたいという気持ちが強かったので地元企業を探しました。体力面にも自信がなかったの

で、先生が内勤で募集している会社を紹介してくれて日建工業に決めました。

地元企業の魅力とは、どのようなところだと思いますか。

横田 一番は転勤がないことです。大手企業だと転勤がありますが、地元企業なら県内で、一番遠くても栗原程度。週末には必ず家に帰れて、友達とも会えます。地元で働くということは、自分が知っている場所で、ずっと家族や友達とつながっていられるということなんです。

浦山 横田さんと同じく、家族や友達が周りにいることで安心できるということが大きいんです。県内に本社があることで、地元

に根付いて働けることが魅力の一つだと思います。

仕事のやりがいについて教えてください。

浦山 私は積算業務を担当していて、発注者から提示された金額と、自分が積み上げた工事金額が一発でぴったり合った時は本当に嬉しいです。また最もやりがいを感じるの

のは工事を落札できた時ですね。

横田 私は施工管理なので、実際に建物を建てるのが仕事です。建物が完成してお客さまに見てもらった時、テレビ番組のように「わあ、すごいー」と言ってもらえる



(株)深松組 建築部
よこ た ゆう だい
横田 雄大さん

2017年3月卒業(9年目)

瞬間があり、その一言でそれまでの大変さが全て吹き飛びます。

施工管理とはどのような仕事ですか。

横田 施工管理は現場作業ではなく、それを管理する仕事です。例えるなら、職人さんが楽器の演奏者で、施工管理は指揮者のようなものです。具体的には、工程表を作成して工事を期間内に終わらせる管理、お客さまとの打ち合わせ、職人さんたちの作業管理、品質管理として寸法などを測って確認する仕事、そして作業員の安全を守るのが仕事です。現場全体を見渡す必要のある仕事が多いですね。

苦労した点や大変だったことはありますか。

横田 新人が最初に任される仕事の中で、特にコンクリート数量管理が大変でした。図面で計算した数量と、現場で型枠に流し込む実際の数量は必ずしも一致しません。慣れないうちは生コン車を余らせてしまい、返却することでもかなりのコストが掛かってしましました。でも9年経った今ではぴったり合わせられるようになりました。経験と慣れが大切です。

浦山 予定価格がぴったり合った時が嬉しい反面、合わない時が最も大変です。発注

者が提示した金額とこちらで計算した金額が全く合わない、原因を探さなければなりません。見つかるまでやらなければなら

ないことが特に大変ですね。

働き方改革について、現在の休日制度や残業の状況を教えてください。

横田 弊社はほとんどの現場が週休2日です。土日と祝日は休みです。残業も規制が設けられているので、その規制に達しないように業務内容を工夫しながら、残業時間を規制内で終わる取り組みを行っています。早ければ17時30分には帰りますし、遅くても18時30分くらいです。有給は基本いつでも取れますので、現場終了後、1〜2週間まとめて休みを取る人もいます。

浦山 完全週休2日制で土日休み、祝日もお休みです。お盆や年末年始もちゃんと休みが設けてあります。残業については、積算の金額が合わない時は残業せざるを得ないのですが、それ以外は基本的には定時に帰っています。建設業だから休みが少な

いという悪いイメージはないですね。

待遇面についてはどうですか。

横田 満足ですね。会社としても給料が安いと若い人材が集まらないことを理解して



日建工業(株) 工務部
うら やま しおん
浦山 菜緒さん

2020年3月卒業(6年目)



現場の人とコミュニケーションを取る時に何を言っているか分からない時がありますので、施工管理技士の知識は入れておいた方が良いと思います。

佐藤（ひ） 会社や仕事を選ぶ基準として大切なことは何ですか。

横田 求人票を見ると、どうしても休日や初任給など、お金や休日に目が行くと思うのですが、それがいくらく良く見えても、会社の人や雰囲気が悪いと絶対続かないですね。気になる会社があるならば、会社見学に参加してみても、実際に会社の雰囲気を肌で感じる事が一番だと思います。私は書面だけであれば深松組を選ばなかったと思います。

浦山 横田さんと同じなのですが、本当に気になった会社があれば職場見学は行った方が良いでしょう。自分が働いたらこういう感じになるかなとか、イメージはある程度掴んでおいた方が良いでしょう。複数社行けるのであれば、できるだけ行ってみてください。

安達 人間関係を良くするためのコミュニケーションで気を付けることはありますか。

浦山 基本的にはあいさつは絶対です。「おはようございます」「お先に失礼します」というのはもちろん、「ありがとうございませう」とか、自分が間違っているなと思ったら「ごめんなさい」って素直に言えることも重要です。あと、分からないところがあつたらすぐ聞きに行く姿勢を見せることも大切と感じます。

横田 あいさつは基本ですが、入社式など



さとう せい が
佐藤 聖我さん
建築科 2年生

の第一印象も大事だと思います。もしもじしない大きな声でしゃべれるかどうか。「こいつ元気だな」とか「ちょっと可愛げあるな」と思われたら勝ちだと思います。間違ってもいいので、大きな声でハキハキしゃべればみんな可愛がってくれると思います。

安達 ありがとうございます。やはり引っ込み思案にならずに、積極的に自分からコミュニケーションを取って、分からないことはすぐ先輩に聞くといった姿勢が大事だということですね。

本郷 女性の社員の割合や、女性が増えてきているかを教えてください。

横田 私の現場は5人で担当していますが、そこに女性1人が施工管理という立場で働いています。会社にも積算担当の女性がいまふし、工事を担当してもらっている設計事務所の担当も女性の方です。発注者の担当者2人も女性です。私の周りは女性の方が多いくらいに感じます。

浦山 私の会社は男女比率でいうと男性が9で女性が1で、女性が少ないのですが、実際に内勤で働いていて、男性だから女性だからという圧を感じたことはありません。周りの環境がとても良いのだと思います。



さとう ひなた
佐藤 ひなたさん
建築科 2年生

安達 残業が多かったり休みが少なかったりするのは不安だったのですが、働き方改革などで改善されているのは本当に良いなと思いました。お2人の話を聞いて不安が無くなりました。

本郷 求人票を見る上で一番重視したところ

学んでいます。自分のクラスでは男女みんな仲良く楽しいです。今の話を聞いて、男子だからとか女子だからとか関係ないということが分かりました。

佐藤（ひ） 正直そこも気になっていました。女性だからみたいなのがあるのはちょっと怖いという印象を持っていたので、安心しました。

安達 天候による工程遅れへの対応はどうしていますか。

横田 まず工程を組む時に、梅雨時期や台風シーズンなど、中止になってしまいそうな作業があるかを考えます。雨でできなくなる作業は大体決まっているので、余裕を持って工程を組んでいます。それでも遅れた場合は、次の作業で職人さんを増やすなど対応していきます。遅れを取り返すために夜までぶっ通しでやるということは基本ありません。

おり、どんどん給料が上がっています。ことしも大きく上がって、給料は結構潤っています。

浦山 私は内勤なので現場の人の方が貰っているかもというイメージはありますが、特にお金に困ったことはないです。

ここからはOBのお2人に生徒の皆さんからの質問に答えていただきます。

佐藤（聖） 仕事に就く前に取得した方が良いでしょう。資格はあります。

横田 施工管理をする上で一番重要な資格は施工管理技士です。高校生でも学科試験（1次）が受験できるようになっていますが、取って置いて損はありません。働いてからの勉強は本当に難しいので、在学中の挑戦をお勧めします。

浦山 社会人になってから挑戦することになるのですが、やはり土木施工管理技士は高校生のうちに挑戦しておいた方が良いでしょうね。



あ だち りょうすけ
安達 綾祐さん
土木科 2年生

ろは何ですか。

浦山 私はやっぱり休みが多い方が嬉しいので、休日を特に重視しました。

横田 私もお金よりも休みが欲しかったので、やっぱり休日ですね。あと、マニュアル免許で必ず取りなさいとか、会社からの細かい条件が書かれていることもあるので、そういうのはしっかりと見た方がいいと思います。

佐藤（聖） 現場での年齢層の割合について教えてください。

横田 うちで一番多いのは50代で、30代や40代が極端に少なくなっています。これは2011年の震災前は建設業に仕事が多く、人を採用できなかったためです。震災後に若い人が次々採用され始めたので、20代が多くなっています。お父さんやおじいちゃんの年代の人と仕事しているような感覚ですね。年齢層が離れた方々と仕事をする上で心掛けていることは、いかに可愛がってもらえるかです。「おはようございます」に少し個性を出したり、分らないことは積極的に聞きに行ったり、話しかけることが大切だと思います。

浦山 横田さんと同じような感じで、30、40代が少なく、20代、60代が多いです。私

の一番近い先輩が父と同年の仙台工業卒業生です。年齢層が離れていますが、特にやりにくいなというのを感じないですね。先輩たちがすごく優しく接してくれているからだと思います。

佐藤（ひ） 建設関係の仕事をしたって考えている人に一番知っておいてほしいことを教えてください。

横田 一番はコミュニケーションだと思います。いくら頭が良くてもコミュニケーションが取れないと仕事はできません。人ちゃんと話せる能力を身につけて卒業すれば十分です。私も無資格で成績が悪い中で卒業して就職しましたが、こうやって仕事を続けているので、人とどれだけ話せるかが重要と感じています。

浦山 建設関係には施工管理、積算、管理系などいろいろな職種があるので、自分



ほん ぎゅう ほ
本郷 由帆さん
土木科 2年生

で合っているなって思う職種を見つけれればいいと思います。

最後に在校生へのメッセージをお願いします。

横田 進学、就職関係なく、高校生のうちにはたくさん遊んでおいた方がいいと思います。社会人になると仲良かった友達とも疎遠になりがちです。就職する人はぜひ工業高校から就職してください。こんなに就職支援に関して手厚い学校はなかなかないと思います。私も就職について、かなりサポートしてもらいました。ぜひこの環境を生かして頑張ってください。

浦山 勉強していて不安になることもあるかもしれませんが、3年間高校生活を頑張れば、地元での就職先は必ず見つかります。自分に合った道を見つけて、前向きに進んでいってほしいと思います。

座談会を終えて（在校生の感想）

佐藤（聖） 資格取得の重要性を改めて認識しました。在学中にチャレンジできることは今のうちにやっておこうと思います。

佐藤（ひ） 女性として建設業で働くことへの不安がありました。先輩方の話を聞いて、男女関係なく活躍できる業界だと安心しました。

安達 働き方改革で建設業の労働環境が大きく改善されていることを知り、残業や休日に関する不安が無くなりました。コミュニケーション能力の重要性も印象に残りました。

本郷 職場見学の大切さを強く感じました。実際に自分の目で見て感じる事が、会社選で最も重要だと分かりました。



仙建協だより

時間外労働削減へ 適正工期要望 25年度定時総会を開催

仙建協の2025年度定時総会が、5月9日に仙台市内のホテルで行われました。地域を支える建設業として、本年度は工期の適正化に関する要望や防災訓練、大学生の会社見学会などを継続していく事業計画を議決しました。

深松努会長は、仙台市に対して公共事業の確保などを要望したことを会員企業の代表者に伝えた上で「会員80社が一丸となり、市民の幸せを支える基幹産業として持続的発展に取り組んでいく」と呼び掛けました。

25年度の事業計画では、時間外労働の削減に関して発注者に適正な工期設定を要望するほか、完全週休2日制の実現を目指して「建設産業標準カレンダー」を導入することになりました。また、重点事項として▽復旧・復興への貢献活動▽会員企業の技術力向上、経営の改善を推進▽労働災害の防止、雇用改善を推進▽建設業の社会的使命▽関係機関・関連団体との連携―に取り組み方針を確認しました。



深松会長

効果的な会話力 身に付ける 25年度若手社員研修会

2025年度若手社員研修会を6月13日に仙台市内で行いました。会員企業に所属する入社7年以下の若手社員約30人が、会話力やコミュニケーション力を高めるための研修に取り組みました。

「工事現場では近所の方々や役所の担当者や話す機会が多く、思いの伝え方が大事だ」と深松会長は受講者に伝えました。受

講者たちは初対面の会員同士がグループに分かれ、伝え方や聞き方、効果的な文章の書き方などを学びました。

さらに10月10日には、前回の研修を受けた若手社員を中心にフォローアップ研修を行いました。

最初の研修を受けてから仕事の取り組み方が変わってきた会員たちは、グループ単位で自分の考えを伝えたり、協力してゲーム形式の問題を解いてコミュニケーション力を高めました。



グループごとに研修

地域を守る 災害時の合同訓練 仙台市5区役所と連携

災害時に地域を守る業界団体として、2025年度も仙台市と合同で災害対応訓練を行いました。以前は、5区役所輪番で行っていましたが、昨年より全5区役所と一斉に行うことにしました。今回は5月28日に、仙台市の5区役所および宮城総合支所、秋保総合支所と連携して、災害が発生した時の初動活動の手順を確認しました。

宮城県沖で午前9時に巨大地震が発生したとの想定のもと、地震発生直後に仙建協は事務局内に災害対策本部を立ち上げました。各区、総合支所と無線などで連絡を取り合い、支援要請を受けて会員企業が被災現場に出動する訓練などを行いました。また、会員企業から連絡員を役所に派遣し、情報収集する手順も確認しました。

このほか、10月23日には仙台市との協定に基づき、2回目となるバス停の除雪出動訓練も行いました。大雪が降ってバス停での乗降が困難になった時、仙建協の会員企業は最寄りのバス停周辺で除雪作業に協力することになっています。

出動訓練では、

仙台市から出動要請を受けた事務局が会員各社にそれを連絡し、会員企業の除雪部隊がバス停を見回る手順を確認しました。



無線連絡の手順を確認

- 第33回定期会議
- 募集力・広報力アップ講習会
- 会員会社若手社員研修会

7月

- 第1回仙台労働基準監督署・仙台市合同安全パトロールを支援
- 仙台建設業協会2024年度施工仙台市優良建設工事表彰式
- 第2回集団資源回収運動
- 常任理事会、第182回理事会

8月

- 東北学院大学・宮城学院女子大学生による会員企業見学会
- 県土木部防災訓練へ参加
- 北海道視察研修会

9月

- 仙台労働基準監督署と労安委員指導員の意見交換会
- 仙台河川国道事務所との意見交換会
- 第3回集団資源回収運動

10月

- 2025年度安全大会
- 全国建設業労働災害防止大会（兵庫）へ参加
- 第2回雇用・安全管理パトロール
- 2025年度第2回仙台労働基準監督署・仙台市合同安全パトロールを支援
- 会員会社若手社員フォローアップ研修会
- バス停除雪出動訓練

11月

- 常任理事会・第183回理事会
- 第38回広瀬川河川・海岸一斉清掃（千代大橋）へ参加
- 環境学習教材の贈呈式
- 2025年度建設工事安全パトロール
- 宮城県建設業協会災害訓練へ参加
- 第4回集団資源回収運動
- 仙建協ボウリング大会

12月

- フォーサイトNo69発行
- 特定家畜伝染病防疫演習

広瀬川の環境美化に 協力 クマに注意しゴミ拾い

広瀬川の環境を守る清掃活動「広瀬川1万人プロジェクト」が4月19日と11月8日に行われ、今回も多数の仙建協会員がボランティアに参加しました。会員たちは担当区域の千代大橋近くに集まり、河川敷のごみを拾ったり、雑草の刈り払いを行いました。

これまで秋は毎年、9月中に行っていました。今回は熱中症のリスクを避け、さらに芋煮会シーズンに排出されたごみを片付けようと、実施を11月にずらしました。ところが、この秋は全国でクマによる人身被害が相次いで発生したため、クマの出没リスクの高い広瀬川の上流部では清掃活動が中止になりました。

幸い、多くの会員が作業に当たった千代大橋の周辺はクマ被害のリスクが小さかったため、会員たちは集中して清掃活動に取り組みました。



千代大橋周辺を清掃

新しい顔ぶれ

(代表者変更)
2025年4月1日 (株)小松建設 小松 尚斗
代表取締役
2025年6月2日 遠藤吉照土建(株) 遠藤 正幸
代表取締役
2025年6月19日 若葉建設(株) 沖津 忍
代表取締役
2025年6月24日 仙建工業(株) 木村 英明
代表取締役社長
2025年7月8日 東北二チレキ工事(株) 小田原 慎
代表取締役
(退会)
2025年3月31日 (株)鈴木建設

(会社名変更)
仙台土木建築工業(株)

→ (株)仙台土建

行事報告

1月
●第3回仙台労働基準監督署・仙台市合同安全パトロールを支援
●社会福祉施設への寄付活動
●木建指導員と仙建協指導員合同会議

2月
●仙台市への要望会

●常任理事会、180回理事会

3月
●木建委員会と幹事会合同会議
●第5回集団資源回収運動

4月
●第181回理事会
●第37回広瀬川河川・海岸一斉清掃(千代大橋)へ参加

5月
●2025年度定時総会
●第1回集団資源回収運動
●5区役所災害応急措置協力会説明会
●5区役所2総合支所との災害時合同訓練

6月
●第1回雇用・安全管理パトロール
●木建委員会と幹事会の合同会議
●応急危険度判定士研修会
●宮城県土木部施工管理技士会 仙台支部代議員会
●仙台市総合防災訓練へ参加

現場と社内つなぐ 新たな職域 建設ディレクター説明会を 開催

現場作業の省力化が叫ばれる中、仙建協は3月11日に建設ディレクターの説明会を仙台市内で行いました。

建設ディレクターとは、現場を後方支援するバックオフィス(社内)と、最前線の技術者(現場)とをスムーズに連携させる仲介役のポジション。これまで個別の作業になりがちだった現場と社内をつなぎ、チームで施工管理できる仕組みづくりを提供します。特に女性スタッフの活躍が期待されます。



説明会の様子

る分野として注目されています。説明会では建設ディレクター協会の新井恭子理事長が講師を務め、どのような業務で社内と現場を連携させるのか、具体的な事例を上げて説明しました。

仙台市に教材寄贈 資源回収運動で社会に還元

集団資源回収運動によって得た収益により、仙建協は2025年度も仙台市に学習教材を寄贈しました。11月13日に東北大学青葉山キャンパス内のせんだい環境学習館「たまきさんサロン」で贈呈式



贈呈式の様子

が開かれ、環境福祉委員会の佐藤渉委員長が仙台市環境局の細井崇久局長に蛍光鉱物9種と図書4冊を渡しました。

たまきさんサロンには、建設業をわかりやすく紹介する本も置かれています。佐藤委員長は「寄贈した教材とともに本にも触れていただき、少しでも建設業に理解と興味を持ってほしい」と話しました。仙台市に対する学習教材の寄贈は、2018年から毎年行っています。寄贈した学習教材は同サロンで貸し出したり、環境学習などのイベントで利用されます。

この回収運動は、環境福祉事業の一環として年6回程度、会員企業や会員の家庭から古紙や段ボール、シュレッダーで裁断した紙屑などを回収しています。売却益で毎回、学習教材などを購入して社会に還元しています。

街の防災
サポーター

この建設現場は、大地震時に
地域の救助活動を支援します。



未来へつなぐ、杜の都のまちづくり
(一社) 仙台建設業協会

発行所 一般社団法人 仙台建設業協会

発行 2025年12月

STAFF

■発行人／深松努 ■編集人／佐藤守彦 ■編集スタッフ／三浦修・土山拓・渡邊友紀・青田茂雄・阿部康孝・島貴美香
■編集協力／建設新聞社 ■印刷・製本／建設プレス

